

総合評価	内部評価(市)		外部評価(委員会)		主な事務事業
	事業数	構成比率	事業数	構成比率	
A	1	1.6%	0	0.0%	
B	23	37.1%	12	19.4%	健康診査、機能訓練、市営住宅管理、成人式、スポーツリーダー認定等
C	2	3.2%	32	51.6%	関係団体のネットワーク、保健センター維持管理、健康相談、育児相談、育児教室、乳幼児育成指導、心身障害者福祉事業、保育所運営、子育て支援、生きがい事業、高齢者相談、老人ホーム、下水処理場、ニュースポーツ、スポーツ振興基金事業等
D	36	58.0%	18	29.0%	空地対策、あしや温泉、ごみ計量、パイプライン、特定疾病療養費、地域保健、敬老祝金、学校創立記念、市民ゴルフ大会、芦屋川セカンドカレッジ、図書館運営事業等

## あなたが止める『地球温暖化』 ～いま、始めなければ...～

問い合わせ 生活環境部総務課 ☎38-2051

今日、地球環境が重大な問題になっています。それらは、日常生活を送る上では、あまり実感のわかない問題かもしれませんが、しかし、地球温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少、生物多様性の低下などなど...、地球規模の環境問題は、その深刻さを増しています。また、大量消費による資源の枯渇は、それに頼ってきた私たちの生活を、成り立たないものにしてしまっています。

こうした事態を受けて、1992年にリオ・デジャネイロで、「環境と開発に関する国際会議(地球サミット)」が開催され、各国政府の環境・開発政策に関する国際的な取り決めが宣言されました。また、2005年2月16日には、二酸化炭素など6つの温室効果ガスの排出削減義務などを定めた京都議定書が発効したところです。

私たち一人ひとりが身の回りの簡単なことから始めて、意識を高めていく取り組みを考えていきたいと思えます。

### 芦屋市環境保全率先実行計画 ～「平成16年度年間実績」～

本市では、環境への負荷の低減に率先して取り組むとともに、地球温暖化防止対策として温室効果ガスの削減に向けた行動計画を実施しています。

市役所が事業者・消費者としての立場から、市の全ての事務・事業および施設を対象に平成13年度から平成17年度までの5ヵ年計画として取り組んでいます。

### 市民一人ひとりの環境保全実行計画 ～私たちにできること～

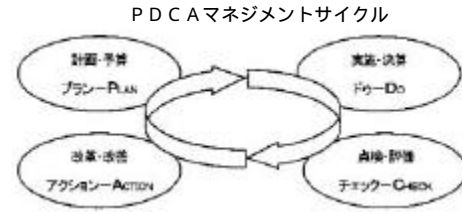
暖房器具は室温が20℃を目処に設定し、つけっ放ししない。使用時以外は主電源を切り、コンセントからプラグを抜く。家族団らんの時間を増やし、空き部屋の照明や暖房は切る。食器を洗うときは、給湯器の給湯温度を低くする。電気製品、自動車等は、エネルギー効率の高いものを購入。自動車を使用せず、なるべく徒歩か自転車を利用する。自動車を利用する場合は、駐車時のアイドリングをストップ、急発進・空ぶかし抑制など、適正な利用を心がける。

取り組み項目(削減を目指す)	目標(基準：平成11年度)	平成16年度	増減率
温室効果ガス総排出量	8%以上減	(t-CO <sub>2</sub> ) 29,005	17.9%減
市施設等で使用する燃料使用量	5%以上減	都市ガス	1,149,466m <sup>3</sup> 6.5%増
		重油	5,261kg 73.7%減
		灯油	13,136kg 96.9%減
		LPG	3,831kg 42.9%減
		ガソリン	81,185kg 6.9%増
軽油	22,966kg 48.4%減		
電気使用量	5%以上減	32,042,808kwh	1.5%増
水使用量	5%以上減	323,020m <sup>3</sup>	5.2%減
用紙類(北用紙)の使用量	10%以上減	16,044,400枚	2.2%減

取り組み項目(増加を目指す)	目標(基準：平成11年度)	平成16年度	増減率
低公害車の導入(公用車に占める割合)	10%以上増	9.3% (151台中14台)	5.0%増
紙資源回収の推進(回収量)	50%以上増	80,380kg	10.1%増

# 改革・改善の推進 「新しい公」の構築を目指して

問い合わせ 行政経営課 緯38-2009



行政活動の目的を明確にし、活動の結果や成果を一定の基準、視点で評価。施策の立案や改善につなげる。

行政活動の目的を明確にし、活動の結果や成果を一定の基準、視点で評価。施策の立案や改善につなげる。また、市内部評価でC・D評価となつた事業を中心に、六十二事務事業については、有識者で構成する行政評価委員会による外部評価も実施しました。これは、多角的な視点から行政評価システムの客観性と透明性を確保するとともに、簡素で効率的な行政経営を推進するものために実施するものです。

第三次芦屋市行政改革大綱の基本目標である「簡素で効率的な行政システム」の構築を目指し、平成十二年度から行政評価に取り組んでいます。今年度は百十九事務事業の総合評価を実施し、将来の方向性についての検討を行いました。また、市内部評価でC・D評価となつた事業を中心に、六十二事務事業については、有識者で構成する行政評価委員会による外部評価も実施しました。これは、多角的な視点から行政評価システムの客観性と透明性を確保するとともに、簡素で効率的な行政経営を推進するものために実施するものです。

## 行政評価委員会による外部評価を実施

### 行政評価委員会委員一覧

委員名(敬称略)	役職等
稲沢克祐	委員長 関西学院大学専門職大学院助教授
麻木邦子	副委員長 税理士(平成17年9月30日辞任)
武久顕也	委員 監査法人トーマツパブリックセクター マネージャー
横山直子	委員 姫路獨協大学助教授

### 行政評価委員会の総括コメント(抜粋)

厳しい財政状況、官の仕事の仕方と市民等との関わり方を組み変えていく「新しい公」の構築という点からは、これまでとは異なる政策形成と事業への取り組みが求められています。

外部評価では、市と市民や民間企業等との協働という「市開与の必要性の視点」を重視しました。加えて、企業経営の発想、市民目線での発想を重視した意見交換を行った上で、昨年度事業の改革・改善の進捗状況を評価しました。

「財政危機」という現実には、改革のときを待たずに現出します。今を逃して改革を遠ざけてはならないことを、市全体で自覚を強くするときです。

さらに、改革・改善の目的は、財源の圧縮にとどまらず、公共サービスの質の改善でなければなりません。公共サービスの質をモニタリングするという目的のためには、当該の公共サービスを提供する最適の者は誰か、最適の方法は何か、サービス提供中は迅速に誤りなく行われているか、などをチェックしていくこととなります。そして、公共サービスの質の最終的な評価者は、市民であることを、現下の厳しい状況だからこそ、再確認する必要があります。

多角的な評価  
市評価では24事業(38%)がAまたはB評価だったのに対し、委員会評価ではそれらの合計は12事業(19%)へと減少しています。この点、市評価が甘く、委員会評価が正しいと判断することは間違いであり、外部評価では62事業の相対的な比較の中で、一つひとつの事務事業についての判断を下すことが可能であったといえます。

質の高い行政サービス  
質の高い公共サービスを提供していくためには、市が行う事業なのかどうかを検証するとともに、本来は、個人や家庭、地域で担うべきこと、民間でも提供が可能な分野にもかかわらず、市として事業を続けること、現金等の給付などは、税の使い方として問題があり再検討しなければなりません。その枠の範囲で、さらに、市が本当にやるべきなのか、やるとしたらどこまでなのか、そういった視点から、継続的な評価を行いました。

改革と改善をサポートする手法  
事務事業の改革・改善を推進するのは、市職員であり、内部の評価と外部の評価を比較考量することで改革の動機付けが強まることが期待されます。併せて、市民にも分かりやすい目標や改善の方向性を示すことが必要です。

## 美術博物館の催し

■会期 12月3日～12月11日(月曜日を除く)※観覧料は童美展会期中、無料  
\* 冬季休館のご案内 \* 12月12日～平成18年2月3日

### 第56回 童美展

「童美展」とは、小学校就学前の児童の作品を対象とした公募展です。入選作品約1000点が美術博物館の壁面を埋めつくし、ホールを熱気で包みます。会場全体に広がる子どもたちの「こだわり」が強烈な個性を発散します。問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434(〒659-0052伊勢町12-25)



昨年の会場風景

### <選>美術博物館収蔵品セレクション2

美術博物館の収蔵品の中から代表的な小出 楯重とその周辺の作家たちの逸品を選び展示します。

### 寄贈寄託品展 Part2

『源平合戦図屏風』  
源平合戦を富士川の合戦から壇ノ浦に至るまでダイナミックに表現しています。ドラマ「義経」で登場した場面も確認できます。



日時 12月10日(土) 午前10時～正午 会場 美術博物館講義室  
「煌めくクリスマス飾り」 指導 福山登美代氏(日本折り紙協会会員) 参加費 200円 定員 先着30人 申し込み 住所・氏名・電話番号を記入しファクスで、あしみゅー(緯090-9698-5061)

日時 12月17日(土)午後4時30分～午後6時 「美博でおとなのクリスマス」 ワインとダンスと音楽と  
会場 美術博物館・ホール 参加費1,000円 定員 先着100人 申し込み 往復はがきに住所・氏名・連絡先・電話番号・参加人数を記入し左記へ。

詳細はあしみゅー(緯090-4296-1790)まで。